

登録コード	EKC01900	開講年度	2026			
授業科目	教育臨床研究入門				担当教員	森下 孟 他
英文授業名					副担当	安達 仁美・高柳 充利・佐藤 和紀・越智 康詞
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限	履修学年
講義室	教育学びセンター201		授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】	
	24EAカリ					
	教育の専門職としての学識・技能				教育の専門職として、教育臨床現場での授業観察や実習に必要な基礎的な知識・技能やマナー等を身につけることができる。	
	26EAカリ、25EAカリ					
	教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点				教育問題を制度・社会・文化・個人の各レベルで整理し、相互作用を理解することで、より実践的な解決策を考察できる。教育課題の構造を可視化し、適切な研究方法や介入の可能性を探ることができる。	
	協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力				異なる立場や専門性を持つ人々の視点を統合し、協働しながら新たな価値を生み出す力に焦点を当てる。教育現場の課題は複雑であり、一人の視点では解決が難しいため、共創的なアプローチを通じて、より実効性のある解決策を導き出せるようになる。現場で直面する多様な課題に対して柔軟かつ創造的に対応できる。	
(2)授業の概要	・現代の教育問題を構造的に整理し、教育学的な見方・考え方を理解する。 ・教育臨床研究を進める上で必要な知識や方法を習得する。 ・異なる専門分野を背景に持つ多様なメンバーによるグループディスカッションやポスターセッションなどの協働的な学びやリフレクションを通して、教育臨床研究の幅を広げる。					
(3)授業計画	第1回：オリエンテーション 第2回：臨床現場における臨床教育実践の意義 第3回：臨床現場における観察・実践のマナー - 学校現場の視点から - 第4回：臨床現場における観察(1) - 授業分析(ICT)の視点から - 第5回：臨床現場における観察(2) - 現職教員及び児童・生徒理解の視点から - 第6回：臨床現場における観察(3) - 観察記録の取り方とその分析(科学的な視点) - 第7回：臨床現場における観察(4) - 観察記録の取り方とその分析(言語的な視点) - まとめ(実習・課題探究に向けて)					
(4)成績評価の方法	・各講義におけるディスカッション及びプレゼンテーション（50％）、授業後のレポート（50％）を総合して判定する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。					
(5)履修上の注意	・指定された回では、ノートパソコンやタブレット端末などの無線LAN接続可能なものを持参すること。 ・積極的にグループディスカッションなどに参加すること。					
(6)質問、相談への対応および連絡先	森下：学セ2F 238-4245 morisita@shinshu-u.ac.jp （前期・後期）メール予約で随時対応					
(7)成績評価の基準	「卓越している」：実践や観察の意義，観察の観点，基本的マナーについて，事前学習の内容にディスカッション及びコメントの内容を加味するとともに，新たな視点を加えて考察することにより理解している。 「かなり上である」：実践や観察の意義，観察の観点，基本的マナーについて，事前学習の内容にディスカッション及びコメントの内容を加味して理解している。 「やや上にある」：実践や観察の意義，観察の観点，基本的マナーについて，事前学習の内容にディスカッションまたはコメントの内容を加味して理解している。 「水準にある」：実践や観察の意義，観察の観点，基本的マナーについて，事前学習の内容に基づいて理解している。					
(8)事前事後学習の内容について	・事前学習としては，eALPSにアップロードしてある配布物を事前にダウンロードしたり，eALPSに掲載してある関連URLからWebサイトを閲覧したりすることによって，問題意識を明確にしたうえで授業に参画する。 ・事後学習としては，授業で学んだことなどをeALPSに記入し，学生間で共有できるようにする。					
【教科書】	・特に指定しない					
【参考書】	・必要に応じて，講義中に適宜紹介する。					